

# 第4級

# 聖書検定試験 問題例

※これは第4級聖書検定試験の問題例です。本試験の参考にしてください。(模範解答例は次のページ)

問1. 聖書検定第4級 必須暗唱聖句を二つ出典個所とともに書きなさい。

(1)

(2)

問2. 次の文章の( )の中に、もっともふさわしい語句を入れよ。

創世記の第1章と第2章には、神がこの世界を調和のとれたものとして創造したと書いてあります。たとえば、人間の結婚という制度は、神による創造の( )の一つと考えるべきです。

このように創世記には人間の基本的な問題が語られています。人間は神の( )に似せて造られているから、人間には、( )があり、たとえ死体であってもいちように扱わなくてはなりません。

また、人間は弱い肉体をもっていますから、働いてばかりいてはいけないのであり( )を取り、家庭を大切にしたり、( )が女を腕力の弱い者として扱うように教えています。

問3. Aという観光地には、約300匹の日本猿が飼育されていて、それが人気で、毎日大勢の観光客が訪れています。飼育員は市の職員です。エサも市費でまかっています。最近、猿の数が増えたらしく、商店の品物が猿に持ってゆかれたり、観光客が目を離したすきに弁当を持ち去られたりする被害が多発しています。聖書の教えを取り入れて、どのように対処したらよいでしょうか、あなたの考えを簡潔にのべてください。

(

)

問4. 「バベルの塔」の物語は、

(1) 聖書のどこに書いてありますか。

(

)

(2) また、その物語は、現代の私たちに何を教えようとしているのでしょうか。

(

)

問5. カインとアベルのささげものは、それぞれ何ですか。

(カインは、

)

(アベルは、

)

問6. アブラハムは初め何という名で呼ばれていましたか。

(

)

- 問 7. 創世記第 22 章に父アブラハムと息子イサクのあるふしぎな出来事が書いてあります。それはどのような物語ですか。また、それはどのようなことを意味するでしょうか。  
( )
- 問 8. イスラエル民族は、なぜエジプトで奴隷の民となってしまったのでしょうか。簡潔にその理由をのべよ。  
( )
- 問 9. 次の文中に適切な語句を入れよ。  
バプテスマのヨハネは、人々に ( ) で洗礼をさずけていました。彼は人々に ( ) を説いていました。
- 問 10. 聖書でいう「悔い改める」というのはどういう意味ですか。  
( )
- 問 11. 次の文中に適切な語句を入れよ。  
イエスが活動したガリラヤ地方には、( ) 湖という大きな湖がありました。その湖の水は、ヨルダン川をくだって、( ) 海という名の湖に流れ込んでいました。そこは出口のない湖で、塩分濃度が非常に高い水になっていました。
- 問 12. 次の文中に適切な語句を入れよ。  
旧約聖書では ( ) が中心部になります。新約聖書では ( ) が中心部になります。ともに神からの直接の教えが書かれているからです。
- 問 13. イエスのたとえ話である「善いサマリヤ人」という題のついているたとえ話の要点を簡潔にのべてください。  
( )
- 問 14. 次の文中に適切な語句を入れよ。  
十二使徒の中で、もっとも年長でリーダー格の弟子の名は ( ) です。  
その弟にあたる人で、やはり 12 使徒の一人の名は、( ) です。二人の職業は、( ) でした。  
さらに、その同じ職業で、兄弟そろって十二弟子(使徒)になった人の名は ( ) と ( ) です。
- 問 15. イエスが十二名の青年を選んで弟子にして、訓練した目的は何でしたか。  
(答に○印を一つだけつけてください。)  
( ) 後にできてくる教会の世話をさせるためであった。  
( ) イエスは自分一人ではさみしいので、仲間がほしかった。  
( ) イスラエル十二部族に派遣するためであった。

# 第4級

## 聖書検定試験 模範解答例

問1. 聖書検定第4級 必須暗唱聖句を二つ出典箇所とともに書きなさい。

- (1) ●アブラハムは、行き先も知らずに出発したのです。  
●アブラハムは、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。(ヘブライ11章8節あるいは11:8)
- (2) ●疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。  
●すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。  
わたしがあなたがたを休ませてあげます。(マタイ福音書11章28節または11:28)

問2. 次の文章の( )の中に、もっともふさわしい言葉を入れよ。

創世記の第1章と第2章には、神がこの世界を調和のとれたものとして創造したと書いてあります。たとえば、人間の結婚という制度は、神による創造の( **秩序** )の一つと考えるべきです。

このように創世記には人間の基本的な問題が語られています。人間は神の( **すがた** )に似せて造られているから、人間には、( **そんげん** )があり、たとえ死体であってもいちように扱わなくてはなりません。また、人間は弱い肉体をもっていますから、働いてばかりいてはいけなないのであり( **安息あるいは 休み** )を取り、家庭を大切にしたり、( **男** )が女を腕力の弱い者として扱うように教えています。

問3. Aという観光地には、約300匹の日本猿が飼育されていて、それが人気で、毎日大勢の観光客が訪れています。飼育員は市の職員です。エサも市費でまかなっています。最近、猿の数が増えたらしく、商店の品物が猿に持ってゆかれたり、観光客が目を離れたすきに弁当を持ち去られたりする被害が多発しています。聖書の教えを取り入れて、どのように対処したらよいでしょうか、あなたの考えを簡潔にのべてください。

(人と猿とが共存できるように、なんらかの方法を・・・)

※「共存」という言葉を用いて、「第1項 秩序ある世界」の学びから考えをのべてください。

問4. 「バベルの塔」の物語は、

(1) 聖書のどこに書いてありますか。

( **創世記に書いてある。あるいは、創世記第11章。** )

(2) また、その物語は、現代の私たちに何を教えようとしているのでしょうか。

( **人類の文明が発達しても、人類はけっして高慢にはならない。  
文明の発達が必ずしも良いことではない。** )

問5. カインとアベルのささげものは、それぞれ何ですか。

(カインは、**麦や野菜などの「地の産物」「土の実り」** )

(アベルは、**動物あるいは「最良の羊の初子」「肥えた羊の初子など」** )

問6. アブラハムは初め何という名で呼ばれていましたか。

( **アブラム** )

- 問 7. 創世記第 22 章に父アブラハムと息子イサクのあるふしぎな出来事が書いてあります。  
それはどのような物語ですか。また、それはどのようなことを意味するでしょうか。  
(アブラハムが、息子のイサクを犠牲の動物のように神にささげようとした。  
神はアブラハムの信仰をためされた。)
- 問 8. イスラエル民族は、なぜエジプトで奴隷の民となってしまったのでしょうか。簡潔にその理由をのべよ。  
(カナンがききんに襲われたから。長期間滞在している間に、エジプト王の  
奴隷となってしまった。  
エジプトの王が代替わりして、いきさつがわからなくなったからなど・・・)
- 問 9. 次の文中に適切な語句を入れよ。  
バプテスマのヨハネは、人々に ( 水 ) で洗礼をさずけていました。彼は人々に ( 悔い改め )  
を説いていました。
- 問 10. 聖書でいう「悔い改める」というのはどういう意味ですか。  
(「自分中心の生き方から、神中心の生き方に 180 度転換する」ということを意味します。)
- 問 11. 次の文中に適切な語句を入れよ。  
イエスが活動したガリラヤ地方には、( ガリラヤ ) 湖という大きな湖がありました。その湖の水は、  
ヨルダン川をくだって、( 死、あるいは、塩の ) 海という名の湖に流れ込んでいました。  
そこは出口のない湖で、塩分濃度が非常に高い水になっていました。
- 問 12. 次の文中に適切な語句を入れよ。  
旧約聖書では ( 律法 ) が中心部になります。新約聖書では ( 福音書 ) が中心部になります。  
ともに神からの直接の教えが書かれているからです。
- 問 13. イエスのたとえ話である「善いサマリヤ人」という題のついているたとえ話の要点を  
簡潔にのべてください。  
( あるユダヤ人が旅の途中で、路上強盗に遭いました。  
通りがかったユダヤ人は助けくれませんでした。  
ユダヤ人がきらっていたサマリヤ人が、助けくれて親切にしてくれました。  
隣人への愛のあり方が、たとえ話でよくわかります。 )
- 問 14. 次の文中に適切な語句を入れよ。  
十二使徒の中で、もっとも年長でリーダー格の弟子の名は ( ペトロ、または、ペテロ ) です。  
その弟にあたる人で、やはり 12 使徒の一人の名は、( アンデレ ) です。二人の職業は、( 漁師 ) でした。  
さらに、その同じ職業で、兄弟そろって十二弟子(使徒)になった人の名は ( ヤコブ ) と ( ヨハネ ) です。
- 問 15. イエスが十二名の青年を選んで弟子にして、訓練した目的は何でしたか。  
(答に○印を一つだけつけてください。)  
( ○ ) 後にできてくる教会の世話をさせるためであった。  
( ) イエスは自分一人ではさみしいので、仲間がほしかった。  
( ) イスラエル十二部族に派遣するためであった。